

科目名	児童文学		担当教員	神永 裕昭	
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	教諭（講師含む）				
実務経験を生かした授業内容	文学作品の教材研究の方法について扱う。				
到達目標及びテーマ	主に、小学校国語教科書に掲載されている児童文学作品を読み、作品を構造的に捉え、文学作品の読み深め方や分析する力を身に付けることができる。				
授業の概要	主に、小学校国語教科書に掲載されている児童文学作品を読み、それぞれの作品の構造、表現、内容の特質等から幅広く考察し、文学作品を読むための視点についての理解を深めるとともに、テキストに対する自身の読みを深めていく。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション（授業の流れ・物語を読むという行為）
第2回	アーノルド・ローベル「お手紙」
第3回	斎藤隆介「モチモチの木」
第4回	新美南吉「ごんぎつね」
第5回	あまんきみこ「おにたのぼうし」
第6回	あまんきみこ「白いぼうし」
第7回	今西祐行「一つの花」
第8回	三木卓「のらねこ」
第9回	椋鳩十「大造じいさんとガン」
第10回	宮沢賢治「やまなし」
第11回	安房直子「きつねの窓」
第12回	いぬいとみこ「川とノリオ」
第13回	立松和平「海の命」
第14回	ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」
第15回	まとめ

事前学修	(2-14)：次時に扱う作品を読んでおく。
事後学修	(2-14)：扱った文学作品の分析を自分の言葉でまとめる。同作者の他の作品を読む。
フィードバックの方法	授業中に学生の発言に対してコメントする。

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	50%	テキストを根拠に自分の言葉で作品論をまとめている。
上記以外の試験・平常点評価	50%	リフレクションシートにおいて、授業の振り返りを論理的に記述している。
定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領解説 国語編（文部科学省） ・中学校学習指導要領解説 国語編（文部科学省） ・田近洵一『創造の〈読み〉－読書行為をひらく文学の授業』東洋館出版社（1996） ・田近洵一他編著『文学の教材研究－〈読み〉のおもしろさを掘り起こす』教育出版（2014） 			